お願い！



責任ある献血とは

輸血を受ける患者さんのために「責任ある献血※」をお願いします。

※エイズなどの検査を目的に献血を絶対にしないこと、問診に正しく答えて献血していただくこと

献血をご遠慮いただく場合とは

次に該当する方は献血をご遠慮ください

- ✓ ３日以内に 出血を伴う歯科治療（抜歯、歯石除去等）を受けた方
- ✓ ４週間以内に 海外から帰国（入国）した方
- ✓ １ヵ月以内に ピアスの穴をあけた方
- ✓ エイズ検査が目的の方
- ✓ ６ヵ月以内に 下記に該当する方

  (a) 不特定の異性または新たな異性と性的接触があった
  (b) 男性どうしの性的接触があった
  (c) 麻薬、覚せい剤を使用した
  (d) 上記 (a)～(c) に該当する人と性的接触をもった

- ✓ 今までに 下記に該当する方

  (a) 輸血（自己血を除く）や臓器の移植を受けた
  (b) ヒト由来プラセンタ注射薬を使用した
  (c) 梅毒、Ｃ型肝炎、マラリア、シャーガス病にかかった

- ✓ 下記のいずれかに該当し、中南米諸国（メキシコを含むがカリブ海諸国は除く）を離れてから６ヵ月以上 経過していない方（６ヵ月以上経過している方は職員へお申し出ください。）

  中南米諸国で生まれた、または育った
  母親または母方の祖母が中南米諸国で生まれた、または育った
  中南米諸国に連続して4週間以上滞在、または居住したことがある

- ✓ ジカウイルス感染症（ジカ熱）と診断され、治癒後１ヵ月間を経過していない方

次に該当する方は職員にお申し出ください

- ✓ ３日以内に 薬を服用、使用した方
- ✓ １年以内に 予防接種を受けた方
- ✓ 海外滞在歴について

  ３年以内に外国（ヨーロッパ、米国，カナダを除く）に滞在した方
  昭和55年以降、ヨーロッパ、サウジアラビアに通算１ヵ月以上滞在した方



上記に該当されない方でも，問診内容により
献血をお断りすることがあります。

2024年２月版

献血方法別の採血基準

	全血献血		成分献血	
	200mL 献血	400mL 献血	血漿成分献血	血小板成分献血
１回採血量	200mL	400mL	600mL 以下（循環血液量の 12% 以内）	
年　齢	16 ～ 69 歳※1	男性 17 ～ 69 歳※1 女性 18 ～ 69 歳	18 ～ 69 歳※1	男性 18 ～ 69 歳※1 女性 18 ～ 54 歳
体　重	男性 45kg 以上 女性 40kg 以上	男女とも 50kg 以上	男性 45kg 以上 女性 40kg 以上	
最高血圧		90mmHg 以上	180mmHg 未満	
最低血圧		50mmHg 以上	110mmHg 未満	
脈　拍		40 回／分以上	100 回／分以下	
体　温		37.5℃未満		
年間採血回数※2	男性６回以内 女性４回以内	男性３回以内 女性２回以内	血小板成分献血１回を２回分に換算して血漿成分献血と合計で 24 回以内	

※1　65 歳以上の献血については、献血される方の健康を考え、60 歳～64 歳の間に献血経験がある方に限ります。
※2　１年は 52 週として換算します。

献血の間隔

今回の献血 / 次回の献血	200mL 献血	400mL 献血	血漿成分献血	血小板成分献血※3
200mL 献血	男女とも４週間後の同じ曜日から献血できます。	男性は 12 週間後 女性は 16 週間後 の同じ曜日から献血できます。	男女とも２週間後の同じ曜日から献血できます。	
400mL 献血		男女とも８週間後の同じ曜日から献血できます。		
血漿成分献血				
血小板成分献血				

※3　血漿を含まない場合には１週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、４週間に４回実施した場合には次回まで４週間以上あけてください。

- 献血にご協力いただく皆様の健康を守る基準もございます。詳しくは血液センターにお問い合わせください。
- 献血時に使用する採血針や採血バッグ等は、お一人ずつ使い捨てとなっています。
- 献血受付の際に、本人確認をさせていただきます。ご自身を証明できるもの（運転免許証・健康保険証等）をご掲示いただく場合がございます。ご理解とご協力をお願いいたします。